



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 イーソル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4420 URL https://www.esol.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 勝敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 落合 藤夫 TEL 03-5365-1560  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	6,670	△9.7	398	△45.9	613	△27.9	459	△25.2
2019年12月期第3四半期	7,384	13.7	737	22.9	850	39.4	614	41.2

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 520百万円 (△16.4%) 2019年12月期第3四半期 622百万円 (50.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	22.58	—
2019年12月期第3四半期	30.20	—

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	7,038	5,519	78.4
2019年12月期	6,686	5,128	76.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 5,519百万円 2019年12月期 5,128百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	5.50	5.50
2020年12月期	—	1.50	—		
2020年12月期（予想）				4.00	5.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 2019年12月期期末配当金の内訳 普通配当 4円00銭 記念配当 1円50銭（東証一部市場変更記念配当）

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,025	△6.4	602	△19.5	821	△5.3	606	△8.0	29.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	21,460,800株	2019年12月期	21,460,800株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	1,106,925株	2019年12月期	1,119,464株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	20,348,651株	2019年12月期3Q	20,341,370株

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の縮小により、景況感が大幅に悪化し、景気先行きは不透明となっております。

当社グループの組込みソフトウェア事業がターゲットとして注力している自動車市場では、CASE（Connected つながる車、Autonomous 自動運転、Shared & Service シェアリングサービス、Electric 電動化）と呼ばれる領域が進展しており、同市場は大きな変革期にあります。また、自動車や医療分野を中心に、安全技術への需要が高まっており、機能安全規格の認証取得が求められる傾向にあります。センシングソリューション事業がメインターゲットの1つとしている食肉市場では、食肉相場の変動や原材料価格の上昇など、企業収益に不安定な要素があります。

このような環境の中、当社グループは自動車関連業界をメインターゲットと位置づけ、ワンストップソリューションの提供に注力するとともに、研究開発への投資を引き続き行ってまいりました。また、食肉市場並びに倉庫・物流業界に対しては、指定伝票発行用車載プリンタ（以下「車載プリンタ」という。）並びにハンディターミナルの拡販を進めました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大により、開発案件の規模の縮小、中止、開始時期の延期などの影響が出ております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,670百万円（前年同期比9.7%減）、営業利益398百万円（同45.9%減）、経常利益613百万円（同27.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益459百万円（同25.2%減）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

## (組込みソフトウェア事業)

当事業は、幅広い分野における電子機器向けの自社製ソフトウェア製品RTOS（リアルタイム・オペレーティング・システム）の開発・販売、受託開発を主に行っておりますが、自動車向けが伸び悩みました。その結果、売上高6,172百万円（前年同期比9.8%減）及びセグメント利益363百万円（同49.0%減）となりました。

また、当セグメントの売上高の内訳としては、ソフトウェア製商品は1,369百万円（前年同期比4.9%減）、エンジニアリングサービス等は4,803百万円（同11.1%減）となっております。

## (センシングソリューション事業)

当事業は、冷蔵・冷凍食品市場、食肉市場及び物流市場において、車載プリンタやハンディターミナルの販売や、新たなセンサネットワーク関連ビジネスを進めましたが、車載プリンタの販売が前年の水準に達しませんでした。その結果、売上高479百万円（前年同期比10.5%減）及びセグメント利益4百万円（同72.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,945百万円となり、前連結会計年度末に比べて135百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が158百万円、商品及び製品が49百万円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が74百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,092百万円となり、前連結会計年度末に比べて215百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が83百万円、投資その他の資産が102百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、7,038百万円となり、前連結会計年度末に比べて351百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,202百万円となり、前連結会計年度末に比べて77百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が32百万円、賞与引当金が157百万円それぞれ増加した一方、支払手形及び買掛金が112百万円、その他の流動負債が151百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は316百万円となり、前連結会計年度末に比べて38百万円増加いたしました。これは主に資産除去債務が78百万円、その他の固定負債が98百万円それぞれ増加した一方、役員退職慰労引当金が107百万円、持分法適用に伴う負債が30百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,518百万円となり、前連結会計年度末に比べて39百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,519百万円となり、前連結会計年度末に比べて390百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が317百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予測などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの業績を踏まえ、業績予想を修正しております。詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,891,502	4,049,934
受取手形及び売掛金	1,483,964	1,409,855
商品及び製品	79,431	129,184
仕掛品	168,954	156,901
その他	185,441	199,148
流動資産合計	5,809,293	5,945,025
固定資産		
有形固定資産	166,475	250,128
無形固定資産	71,421	100,613
投資その他の資産	639,527	742,244
固定資産合計	877,424	1,092,986
資産合計	6,686,718	7,038,011
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	460,927	348,023
未払法人税等	105,506	137,906
賞与引当金	49,238	206,698
受注損失引当金	2,760	—
その他	661,323	509,477
流動負債合計	1,279,756	1,202,106
固定負債		
役員退職慰労引当金	107,894	—
資産除去債務	40,579	118,821
持分法適用に伴う負債	86,453	56,022
その他	43,740	141,893
固定負債合計	278,667	316,736
負債合計	1,558,424	1,518,843
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,041,818	1,041,818
資本剰余金	942,093	953,635
利益剰余金	3,077,812	3,394,826
自己株式	△85,280	△84,382
株主資本合計	4,976,444	5,305,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152,520	213,107
繰延ヘッジ損益	289	—
為替換算調整勘定	△960	162
その他の包括利益累計額合計	151,849	213,270
純資産合計	5,128,294	5,519,168
負債純資産合計	6,686,718	7,038,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	7,384,451	6,670,666
売上原価	5,007,979	4,423,396
売上総利益	2,376,471	2,247,269
販売費及び一般管理費	1,639,357	1,848,367
営業利益	737,114	398,902
営業外収益		
受取利息	59	45
受取配当金	3,921	3,929
助成金収入	101,678	200,036
その他	7,853	11,304
営業外収益合計	113,513	215,315
営業外費用		
為替差損	—	821
その他	45	21
営業外費用合計	45	843
経常利益	850,581	613,373
特別損失		
固定資産除却損	465	—
特別損失合計	465	—
税金等調整前四半期純利益	850,116	613,373
法人税、住民税及び事業税	221,522	195,548
法人税等調整額	14,351	△41,596
法人税等合計	235,874	153,951
四半期純利益	614,242	459,422
親会社株主に帰属する四半期純利益	614,242	459,422

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	614,242	459,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,103	60,587
繰延ヘッジ損益	685	△289
為替換算調整勘定	△1,082	1,123
その他の包括利益合計	8,706	61,420
四半期包括利益	622,949	520,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	622,949	520,843



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響の下、経済活動の縮小により景況感が大幅に悪化し、景気先行きは不透明となっております。

本影響は、会計上の見積り項目のうち、主に固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性に関連しますが、本影響が一定期間継続するとの仮定に基づいて見積りを行った結果、当四半期連結会計年度末における会計上の見積りに与える重要な影響はないものと判断しております。

ただし、これらの見積りには不確実性が含まれるため、予測不能な前提条件の変化等により見積りが変化した場合には、結果として将来に追加で費用または損失を計上する可能性があります。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	組込みソフトウェア事業	センシングソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,841,537	535,407	7,376,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,321	—	4,321
計	6,845,859	535,407	7,381,267
セグメント利益	713,278	16,330	729,608

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	7,381,267
セグメント間取引消去	△4,321
未実現利益の調整額	7,506
四半期連結損益計算書の売上高	7,384,451

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	729,608
未実現利益の調整額	7,506
四半期連結損益計算書の営業利益	737,114

当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	組込みソフトウェア事業	センシングソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,161,037	479,197	6,640,235
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,734	—	11,734
計	6,172,771	479,197	6,651,969
セグメント利益	363,928	4,542	368,471

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	金額
報告セグメント計	6,651,969
セグメント間取引消去	△11,734
未実現利益の調整額	30,431
四半期連結損益計算書の売上高	6,670,666

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	368,471
未実現利益の調整額	30,431
四半期連結損益計算書の営業利益	398,902

(重要な後発事象)

(重要な契約の締結)

当社は、2020年11月13日開催の取締役会において、主要取引先であります株式会社オーバスへ当社が保有するソフトウェアライセンスの一部を譲渡する契約を締結することを決議いたしました。

その内容につきましては、開発分担の見直しを行ったことにより、これまでライセンス提供していた当社が保有する車載向け周辺ソフトウェアライセンスの一部を株式会社オーバスへ譲渡するものであります。契約締結の時期に関しましては、当連結会計年度中の締結を予定しております。

本契約締結による連結財務諸表への影響につきましては現在精査中であります。

なお、株式会社オーバスへのその他のライセンス並びにエンジニアリングサービスの提供は引き続き行っております。